

■ TOP MESSAGE

“界面の密着技術”で社会に
新たな価値をお届けするとともに
ESG分野における企業価値向上に
取組んでまいります。

代表取締役社長 **前田和夫**



新型コロナウイルスの流行が1年以上続き、
今なお生活と経済の両面にその影響が及んでいます。
長期間にわたり治療の最前線で
医療現場を支えてくださっている皆様に
深く感謝を申し上げるとともに敬意を表します。
1日でも早い終息を願い、当社としても、
できることに一つひとつ取組んでまいり所存です。

独自技術で成長産業を支えてきた

私たちを取り巻く生活環境は、IoT (Internet of Things) やAI (人工知能)、それらを支える5G通信網整備によるデジタル技術の急速な進化に伴い、大きく転換しようとしています。

当社は1969年に設立し、社会のデジタル化の進展とともに、電子基板製造用の薬品を開発・製造・販売する

メーカーとしての地歩を築いてまいりました。金属と樹脂とが接する境界に付加価値を与える当社の技術は、エレクトロニクス製品の進化・高度化を支え、豊かな生活を実現する一役を担っております。

半世紀を越える長きにわたり事業を継続することができたのは、経営理念のもと、成長産業に携わってきたこと、そして確かな技術に裏打ちされた品質の高い製品・サービスをお届けしてきたことが強みであったと考えています。



経営理念

わたしたちは「独創の技術」「信頼の品質」「万全のサービス」を信条に、自由に着想し、グローバルな事業活動を通して界面価値創造を実現することで豊かで潤いのある社会と環境づくりに貢献します。

社 是

「仕事を楽しむ」

社 訓

- 一. 失敗を恐れず常に新しい目標に挑戦しよう
- 一. 飽くなき好奇心で工夫改善を重ねよう
- 一. 協調と感謝の気持ちで力を合わせ仕事を進めよう
- 一. 安全と健康に気を配り楽しい職場を作ろう
- 一. 広く社会に役立つことを心掛けよう

2020年度の事業環境と今後の成長戦略

2020年度は、4月7日に緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルスの影響が危惧されたものの、企業や学校においてはリモートワークやオンライン授業が増えたことで、パソコン等の需要が高まったことも重なり、総じて堅調に推移いたしました。

本格使用が始まった5Gですが普及という観点ではまだまだ黎明期にあることから、この分野で当社に期待

されている粗化技術を発展させた最先端技術である化学密着の展開は、当社の今後の成長戦略において大きな軸になるものと考えております。また、5G通信網という新たなインフラが整うことにより高機能IoT端末(クルマ、ディスプレイ、スマートフォンなど)が生み出す自動運転や遠隔医療などの実用化にも当社の技術が貢献できるものと考えております。社会の変革に柔軟に対応することで既存の事業にとらわれずに、当社が活躍できるフィールドを広げてまいります。

当社が考えるCSR

当社にとっての企業の社会的責任CSRは、「事業を通じた社会的価値の創造」であると捉えています。当社の電子基板用薬品だけで、世の中を劇的に変えることはできませんが、最先端テクノロジーを側面から支えてきたことに誇りを持っています。また、今後もその期待を裏切らないよう切磋琢磨し、持続可能な社会の実現のための一役を担ってまいります。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、人や物の動きに関して非常に注意を払うべき時期にあります。物の動きとしては、特に国と国との間では船も飛行機の便数も少なくなってきましたので、調達・納品ともに遅延などが生じないよう物を動かすことに心を砕いていきます。また、人の動きに対しては、感染拡大に伴って

リモートワークが推奨されていますが、当社の場合、社員の半数以上が研究開発業務や工場勤務で、現場での業務を必要とするため、社員の安心・安全を第一に感染防止対策やルールの徹底を図っております。一方で、「生活基盤を支える製品」や「重要なサプライチェーンに組み込まれている仕事」として、自分たちも「エッセンシャルワーカー」であるという自覚のもと、引き続き自らの社会責任を果たしてまいります。

私は、新しい価値を生み出すことのできる会社とは「社員がやりがいを持って仕事できる会社」であると考えています。研究開発など新たにモノを生み出す分野だけでなくすべての業務を担う人たちが懸命かつ楽しみながら仕事ができる環境を整備すること、それが会社および経営者のもっとも大切な役割だと思っています。「価値の創造」、それは「自分だけでなく周囲も、現在だけでなく後々の世代の方々にも価値を生み出していく」ことに他なりません。当社の社会活動を通じて生まれた価値が、お客様・お取引先様・株主様をはじめ社員の喜びにつながることを考えて真摯に自らの仕事に向き合う。それが当社の価値創造における基本姿勢です。



ESG分野における企業価値の向上

今や企業は単に利益を上げて社員や株主様に還元すればよいだけでなく、社会の一員としてさまざまな責任を負う存在です。当社としてもESG分野における企業価値向上にこれまで以上に取組んでまいります。

当社はもともと水や化学薬品といった限られた自然の恵みをいただき生業をしていることもあって、環境経営(E)においては、環境負荷低減を最大限意識した製品の開発・製造に取組んでおります。また、製造過程で大量の水を使用するため、水源となる森の育成・整備活動にも力を入れています。化学物質を扱う者として細心の管理も行っています。

当社は『人こそが企業の宝』との認識を持ち、社員一人ひとりが、国籍・性別・年齢・障がいの有無に関係なく多彩な能力を発揮できるよう環境を整えてまいりました。近年、女性活躍推進や管理職率の向上を掲げて取組む会社が多い中、当社は1969年の創業当時から「男女とも機会は

均等にあるべき」と考え、性別の区別なく必要な人材を採用しています。差別のないフラットな姿勢で事業を継続してきたことが、当社の社風となっていて「女性のための特別な取組み」をしていないことが、逆に、男性からのマイナスの声や、女性同士での不満が生じない理由であると考えています。当社は社員が働きやすい環境づくりに取組むことで、個々の能力がより発揮できることになり、会社の成長や発展につながっていると考えています。

社会性(S)では、「仕事を楽しむ」という社是のもと、仕事もプライベートも充実できる「ワークライフバランス」と「多様性」を重んじており、柔軟な働き方ができるような制度と環境を整えています。そのため、産前産後の休暇や育児休業制度は、男女ともに取得しています。充実した社会活動が行える会社を目指して、私を含む経営側の考え方、企業風土、仕組みなどを整えてきたことが、当社の今につながっていると考えています。

ガバナンス(G)は、以前より取締役会の過半数を社外取締役とし、経営に社会の視点を導入しているほか、取締役の指名委員会および報酬諮問委員会を設置するなど、ガバナンス体制の強化を継続的に図っています。

このようなESG分野での企業価値向上が、お客様に新たな価値を提供することにつながり、その結果として広く社会からも認められ、それがまた、私たちのやる気やワクワク感につながる。そういう好循環を創り出せる会社になっていきたいと思っています。

今後は、このCSR報告書を当社とステークホルダーの皆様をつなぐ双方向コミュニケーションツールと位置付け、当社の多様なCSR活動を広くご紹介してまいります。当社社員はもちろん、ステークホルダーの皆様にもぜひご一読いただき、忌憚のないご意見をお寄せいただけましたら幸いです。

